

作成：平成 29 年 11 月 2 日
最終改訂：令和 7 年 1 月 10 日

整理番号 00980

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Synthetic Carbon

シンセティックカーボン

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

推奨用途

分析試験用

使用上の制限

推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性：特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1 (吸入:肺)

ラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 呼吸器への刺激のおそれ。長期または反復ばく露（吸入）による肺の障害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで
取り扱わないこと。粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しな

シンセティックカーボン

P/N: 502-029 502-030 502-630 502-632 502-696 502-905
502-934 502-950

いこと。取扱後は手などをよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置	眼に入った場合水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
保管	容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名	酸化アルミニウム	炭酸カルシウム
成分及び含有量(wt%) *	60-90	10-40
官報公示整理番号		
化審法	1-23	1-122
安衛法	非該当	非該当
PRTR 法	非該当	非該当
CAS No.	1344-28-1	471-34-1
国連番号及び国連分類	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合	粉塵を吸入した場合、すぐに新鮮な空気のある場所に移動させる。症状がひどくなる/続く場合は医師に相談する。
皮膚に付着した場合	水、石鹼で洗い流す。刺激が続く場合医療機関に連絡する。
目に入った場合	すぐに多量の水で洗い流し、15分以上続ける。コンタクトレンズを着用していて外せるようなら外す。すぐに医療機関に連絡する。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐ。症状がある場合医療機関に連絡する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	眼への直接の接触は一時的な炎症を起こす。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	入手不可
シンセティックカーボン	P/N: 502-029 502-030 502-630 502-632 502-696 502-905 502-934 502-950

火災時の特有の危険有害性 消火を行う者の保護	火災時に有害なガスを発生するおそれがある。 自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
---------------------------	--

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。ダストを吸入しない。清掃中は適切な 保護衣を着用すること。
封じ込め及び浄化の方法及 び機材	粉塵の発生と蓄積を防ぐ。掃き集める、または掃除機で吸い取り 廃棄に適した容器に集める。SDS13 項参照。
環境に対する注意事項	環境への流出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	粉塵の発生、吸引を最小限にする。粉塵が発生する場所には適切 な換気を設ける。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。長時 間暴露しないようにする。適切な保護具を着用する。使用後は手 を洗う。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	容器を密閉して乾燥し換気の良い場所に保管する。SDS10 項参照

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形状
酸化アルミニウム (CAS 1344-28-1)	PEL	5 mg/m ³ 15 mg/m ³	吸入性粒子 トータル粉塵
炭酸カルシウム(CAS 471-34-1)	PEL	5 mg/m ³ 15 mg/m ³	吸入性粒子 トータル粉塵

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値	形状
酸化アルミニウム (CAS 1344-28-1)	TWA	5 mg/m ³ 15 mg/m ³	吸入性粒子 トータル粉塵

US. ACGIH Threshold Limit Values

成分	タイプ	値	形状
酸化アルミニウム (CAS 1344-28-1)	TWA	1 mg/m ³	吸入性粒子

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値	形状
炭酸カルシウム(CAS 471-34-1)	TWA	5 mg/m ³ 10 mg/m ³	吸入性粒子 トータル粉塵

シンセティックカーボン	P/N: 502-029	502-030	502-630	502-632	502-696	502-905	502-934	502-950
-------------	--------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分な換気を行う。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品保護手袋を着用する。
その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	十分な換気ができない場合、防じんマスク等適切な呼吸器を着用する。
熱的危険	入手不可
一般的な衛生事項	取扱後、飲食喫煙の前の手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
	形状 粉末
	色 白色
臭い	なし
融点・凝固点	入手不可
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

シンセティックカーボン	P/N: 502-029	502-030	502-630	502-632	502-696	502-905
					502-934	502-950

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	通常の使用下で有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触を避ける。
混触危険物質	酸、塩素、フッ素、強酸化剤、マグネシウム、アルミニウム
有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報	
吸入	ダストを吸入すると呼吸器に刺激のおそれ
皮膚	刺激を起こすおそれ
眼	ダストが眼に入ると刺激を起こすおそれ
飲み込んだ場合	飲み込むと有害
物理的、化学的、有害性特性に 関連した症状	入手不可
毒物学的影響	
急性毒性	入手不可
皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	この製品は IARC, ACGIH, NTP, OSHA に発がん性物質として登録されていない。
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性（単回暴露）	気道刺激性があるとの記載より区分3（気道刺激性）に分類。酸化アルミニウムの職業ばく露により、肺に繊維症が認められたとの報告がある。区分1に分類。長期または反復ばく露（吸入）による肺の障害
特定標的臓器毒性（反復暴露）	
誤えん有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性 成分	種	試験結果
シンセティックカーボン	P/N: 502-029 502-030 502-630 502-632	502-696 502-905 502-934 502-950

炭酸カルシウム(CAS 471-34-1)

水生

魚

LC50 カダヤシ >56000 mg/L, 96hr

残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14. 輸送上の注意

DOT,IATA,IMDG において危険品として記載されていない

15. 適用法令

水質汚濁防止法 法第 2 条 第 4 項 施行令第 3 条の 3

16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS (090622) : LECO Corporation JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法 JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、 作業場内の表示および安全データシート 化学便覧 : 丸善 職場のあんぜんサイト : 厚生労働省 NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構
------	---

作成：平成29年11月2日

改訂：令和2年6月8日（P/N追加）

令和4年3月18日（法令見直し、2019年版JIS対応）

令和7年1月10日（法令見直し）

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。